

何かを成し遂げるために全力で取り組む真面目な人が多い

R. M.

信州大学 繊維学部 化学材料学科 進学

ひたちなか市立 長堀小学校 卒業

茨中・茨高の先生方は教科書の内容を上手くまとめたオリジナルの授業プリントを使い、興味をそられる授業をしてくれます。また6年間の計画的なカリキュラムに沿って授業を進めていき、大学合格への道のりを指し示してくれます。自分は塾に行かずに、授業プリントを中心に基礎固めをして、さらに学校推奨の問題集をこなして力をつけることが出来ました。茨中・茨高では中学3年生から英語、高校2年から数学の習熟度別授業を行っているので、自分のレベルに合った授業を受けることができます。自分が英語の応用クラスに上がった時、周りのレベルが自分よりも高く、自分はまだまだだと実感し、勉強のやる気に火が付きました。また授業とは別に行う課外授業でも刺激を受けました。茨中・茨高の課外は種類が豊富で授業前や放課後、長期休業の時に行われます。特に長期休業での課外ではまとまった時間が取れるので、先生がみんなの苦手な単元を分析してくれ、普段なら進度が早く十分に理解できなかつたところを丁寧に教えてくれるので助かりました。この長期休業の課外で数学の苦手だった単元を克服することが出来ました。茨中に入学してから自然と学習する習慣が身につく、勉強が楽しくなっていきました。特に理科の授業が自分には興味深く、勉強に熱が入り最終的に得意教科になりました。生物ではカエルの解剖、化学では電池の作製、物理ではウェーブマシン（波を作る機械）を使った実験などが特に印象に残っています。茨中では中学から生物、化学、物理のように分野別に分かれ先生方がそれぞれ専門とする分野を担当して授業を行うので、より内容が濃く面白くなり、教科書には載っていない興味深いことも教えてくれました。

自分は中高で硬式テニス部に所属していました。高校受験がないので中学で引退することなくそのまま高校の部活に参加できます。また勉強との両立も可能で、定期テスト1週間前は部活がなくなるのでしっかりと勉強時間を確保することができました。学生生活では主な行事の1つとして、中学では体育祭、高校では文化祭が毎年行われます。体育祭は学年やクラスを越えて4色のチームに分かれて行われ、先輩や後輩と交流することができました。ダンスや演舞による応援合戦はチーム一丸となって行われるのでとても盛り上がり、良い思い出になっています。文化祭ではクラスが一致団結して1つのものを作り上げるので、クラス替えをして間もなくそれまであまり話すことのなかったクラスメイトとの会話が生まれ、親睦を深めることができた貴重な機会になりました。

茨中・茨高の良いところは、何かを成し遂げるために全力で取り組む真面目な人が多いことです。例を挙げると、朝授業が始まる前や放課後に毎日自主的に自習室で勉強する人や部活で声を出して部員の士気を上げる人、他にも様々なことに熱心に取り組む人がいました。そのような人達がたくさんいることで周りの人達も影響を受け「自分も」と頑張る人が増えていったように思います。また先生方は個性的で面白い方が多く、学習面では分からない所を細かく噛み砕いて教えてくれました。大学受験をサポートして下さる受験のプロである先生方の存在はとても頼もしいです。勉強や進路についての悩み事に対して真剣に相談に乗ってくださり、自分が知らなかったことや考えられなかったことをアドバイスして頂いて、今までの自分にはなかった新しい考え方を得ることができました。

自分はまだ将来への道が具体的には決まっていますが、大学では高校で好きになった化学を更に深く学び、自分に合った仕事に携われるよう努力し続けていきたいと思っています。また、親元を離れて一人暮らしが始まるので少しでも自立できるよう家事などの身の回りのことをこなし、大学生活を全力で楽しんで充実した日々を送っていきたいです。そのために歩みを止めず突き進んで、高校時代の自分より一回りも二回りも成長して行けたらと思います。